

西御荷鉾山北尾根山行報告

(山 域) 西上州 西御荷鉾山

(コース) 不動明王前登山口(駐車)⇒(北尾根経由) 鼠喰城址⇒西御荷鉾山⇒北東尾根分岐⇒(北東尾根下降) 林道出合⇒不動明王

(日 時) 平成 28 年 11 月 26 日 (土)

(天 候) 曇り時々晴れ

(参加者) CL 柘植、SL 吉川(車)、澤田路、滝本(記録)

(山行タイム)

吉川宅 4:30⇒滝本宅 4:45⇒柘植宅 5:00⇒津田沼駅(澤田路) 5:30⇒不動明王前登山口(駐車)
8:40 着 登山口 9:00⇒鼠喰城址 10:08~10:20⇒西御荷鉾山 11:15~11:40⇒北東尾根分岐 11:50⇒(北東尾根下降) 林道出合 13:50⇒不動明王 14:10⇒往路を帰還

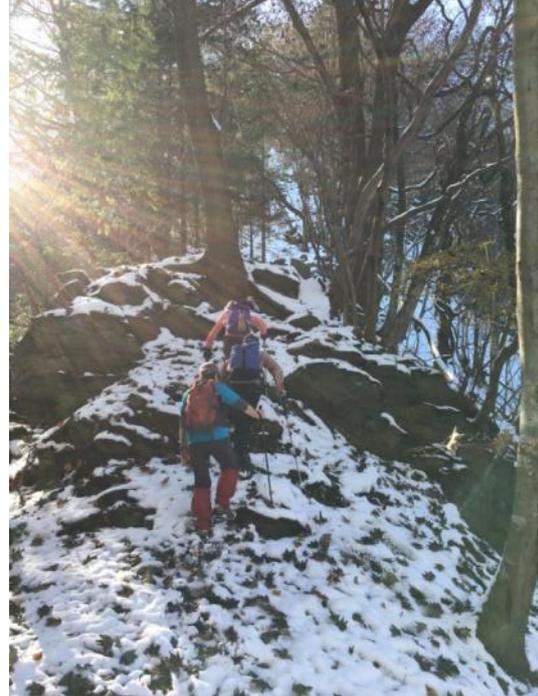
(山行報告)

最初の計画は、日光の古峰神社から行者岳、地蔵岳、薬師岳、三ノ宿山、やしおの湯を 1泊2日の予定であったが、27日(日)の天候が雨の予報であったため、急遽予定を変更して西御荷鉾に北尾根を経由して日帰りで行ってきました。

登山口はエースゴルフクラブに向かい、迂回路と書かれた方向にしたがって進むと「不動明王」と書かれた鳥居があり、そのすぐ横に車がやっと 2 台駐車できるスペースがあったのでそこに停めた。



鳥居をくぐるといきなり急登になり、しばらく続く。雪は、最初はまばらでしたが徐々に増えて落ち葉をほとんど隠すような感じになって、落ち葉や雪で滑りやすくなっているため、木の根や石に注意しながら登っていきます。踏み跡は落ち葉や雪で隠れてしまっているが、尾根は割と明瞭で杭やロープ、テープ等の目印も有って迷う心配はなかった。

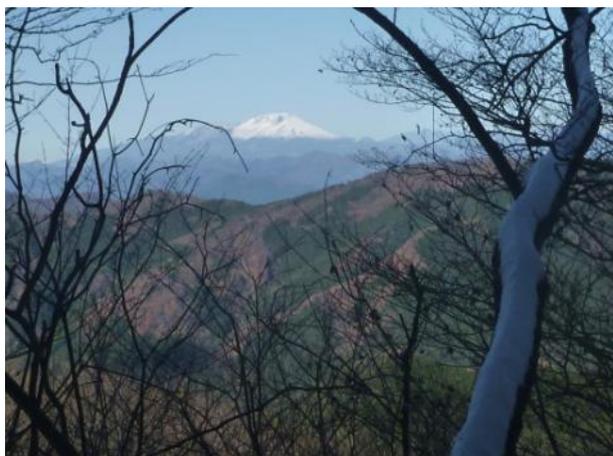


登山開始 1 時間ほどして鼠喰城址の手前にある大きな岩が現れる。左右のどちらを巻くか迷ったが、左は厳しそうなので右を選んだが、右もかなり厳しかった。足がかりがあまりない岩を何度か滑りながらも何とか登り切ることができた。



鼠喰城址の祠に到着してやっとひと休憩。

山行中はほとんど樹林帯の中で周りの景色は見えなかったが、やっと雪をかぶった浅間山が見えた。



祠の後はしばらく緩やかな登りの後、再度急登を登り切って稜線に出て山頂に向かった。

山頂は展望が良いはずであるが、残念なことに雲が出ていて全く何も見えなかった。

稜線は風が強いので不動明王像の周りに避難して 25 分ほど昼食タイム。



下りは距離が登りより長い分だけ傾斜が緩くて楽勝と思っていたが大きな間違いでした。

稜線を東に向かい、北東尾根分岐を暫く下っていくと急な下りになり、GPS を見ると当初の予定より東にずれていることが分かり、登り返して予定の尾根を折り始めたところ、大きな岩があって崖になっており、とても下りることが出来る状態ではなかったので、最初に下りた場所に戻って下ることにした。

かなり急な斜面を、時々尻もちをつきながらも下り、斜面をトラバースし、岩を巻きながらかなり緊張して下って行きました。後で GPS の軌跡を見ると、あっちこちに迷走していたことが良く分かった。

緊張した下りの後、予定の尾根に出て一安心して休憩。

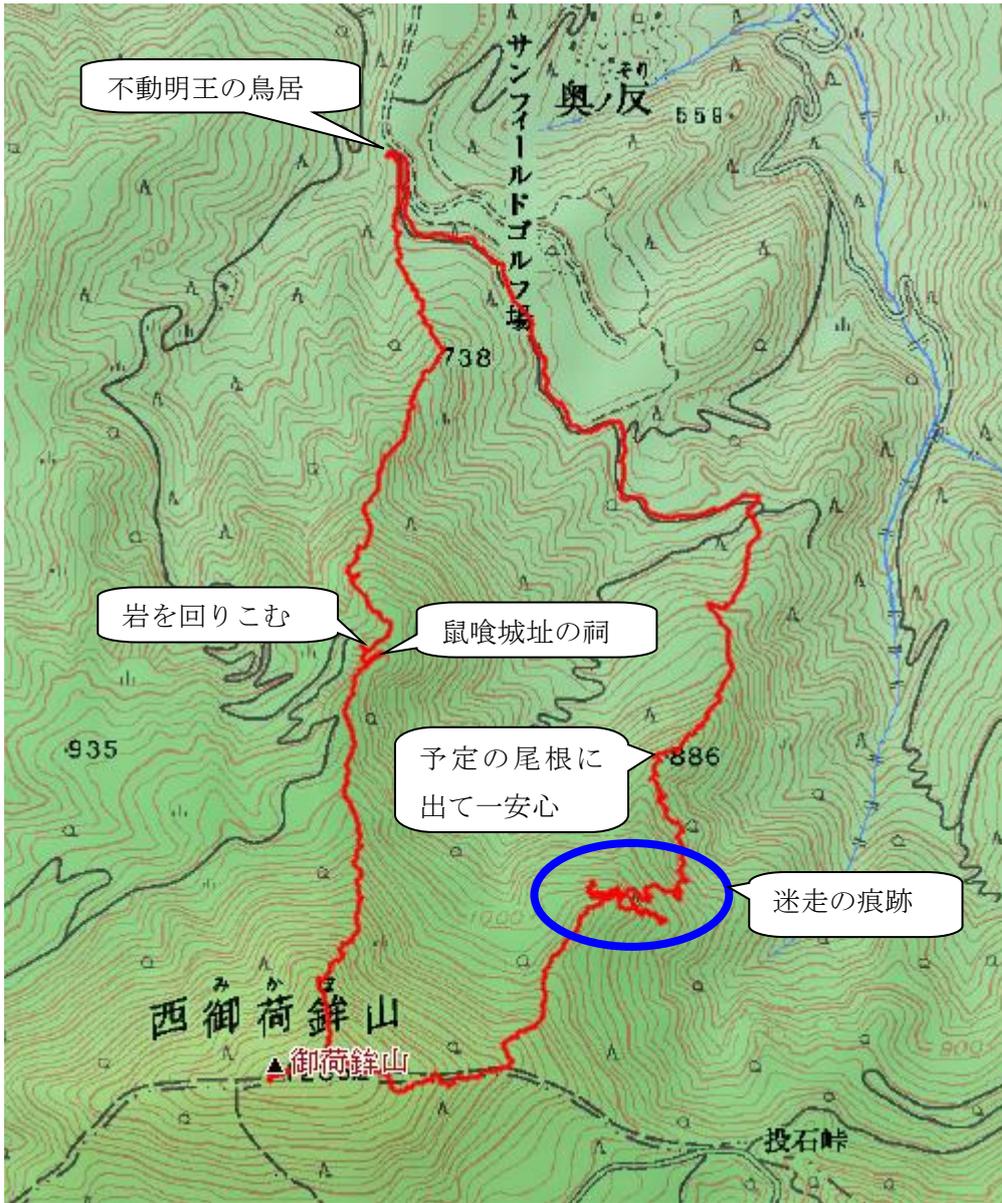


この後は一部急な下りがあったものの、特に危ない箇所は無く、間もなく林道に出て登山口の不動明王の鳥居に到着。

終始、吉川さんと柘植さんの2人が汗もかかず先行し、澤田路さんと滝本が見失わないように汗をかきながら必死に追いかける状態でした。

最初は標高差 700m 程度であり距離も長くないので、少し物足りない感じかと楽観的に考えていたのですが、さすが柘植さんの山行とも言うべき結構ハードで登りも下りも楽しめた山行でした。

下山後、帰る支度をして車に乗り込んだのですが、ナビには DVD の情報が読み込めないとのアラームが出て、地図は出るのでありますが他には全く操作が出来ず、行き先設定が出来なくなっていました。仕方が無いので来たときの道の記憶と、スマホの Google ナビを使って帰りました。しばらくしたら直るだろうと思っていたのですが、最後まで直りませんでした。



不動明王の鳥居

岩を回りこむ

鼠喰城址の祠

予定の尾根に出
て一安心

迷走の痕跡

西御荷鉾山
御荷鉾山

投石峠

奥反

サンフィールドゴルフ場

935

738

558

886